

社会福祉協議会会長賞

堺市立 鳳小学校 六年

植田 紗菜

言葉

「すごい」

「ありがとう」

そんな言葉が聞こえてくる。やさしい言葉。授業などで手を挙げて、人前で発表するのは勇気がある。心臓がバクバクする。不安になる。けれど、拍手やほめ言葉が聞こえてくれば、心が落ち着き、ホッとする。うれしくなる。

朝、「おはよう」と言われたら気分がよくなる。その時、「おはよう」と返せたらいいが、見守り隊の方や大人の人に言われたら返さない人も多いと思う。自分が言われたらうれしいけど、返してもらえなかったらかえって気分が悪くなる。

他にも、友だちと楽しくおしゃべりをしていろんな言葉をかけてあったら楽しくなる。面白くなる。手紙やメールなんかで気持ちを伝えることよりも、実際に言われた方が気持ち伝わりやすい。言葉には、人をうれしくさせたり楽しくさせたりする力がある。

けれど、世の中にはこんなうれしい言葉ばかりがあふれている

わけではない。もらってうれしくない言葉。暴言。誹謗中傷。書いた言葉は消せる。けれど、口に出して言った言葉は、もう取り消しができない。暴言を聞いた人は、悲しく不安になる。最近では、SNSによる暴言や言葉でのいじめが増えてきている。それを聞いた人は、悪口、悪口…と頭の中に残ってしまい、心に深い傷を負ってしまう。そして、そんな悪質ないじめなどにたえきれず、自らその尊い命を絶ってしまう人もいる。私は、そんなことは、絶対にあってはならない。そんなことをした人を許してはいけないと思う。指先だけで打った言葉、口から出たたった一言だけでも、すごいいじめになってしまう。私は、これは立派な犯罪だと思う。自分の言葉のせいで人が亡くなっていると考えると、言葉ってこわいなと思う。

この世界には、いろんな言葉があって、数えきれないくらい言葉がある。でも、言葉は大きくわけて二つあると思う。もらってうれしい言葉ともらって悲しい言葉。この世界には、まだまだ傷つく言葉がたくさんある。なので私は、傷つく言葉が消えて、

うれしい言葉だけになって、みんなが楽しく暮らせる世界になつてほしい。

